



- 研究テーマ 地域多様性を生かした観光・学びと社会形成 (地域×ESD)
- 所属職名氏名 社会科教育講座 准教授 河本大地
- 研究シーズ概要

- 社会の持続に地域で必要なこと2つ

① 誰もがどこかに根っこ(基盤)となる地域をつくる

- 大地と密着した暮らしの営みの理解と価値づけ
- 地理的見方・考え方を鍛える
- 地域環境を理解した防災・減災
- 特定の地域の深掘りは、他の地域の深い理解につながる

② 地域間の相互承認・助け合い

- 世界のどの地域にも履歴があり、そこには価値がある
- 生存や幸福を目的にしよう
…従来の「都市農村交流」等の先へ
無理につながろうとすると「もてなし疲れ」や軋轢や補助金依存を起こす
→実質的意味と自活できる態勢を多様な主体でじっくりつくる
- ローカルとグローバルを直接つなごう
…地域で手の足りていない「仕事」を外の人にお裾分け …それが本物の交流に
国際ワークキャンプ、インバウンド観光等で地域のコアなファンをつくる
世界の眼と地域の眼で未来を構想する …ふるさと教育(地域学習)をローカルで終わらせない
世代間交流だけでなく、違った境遇にある同世代の交流があるといい

- 「暮らし甲斐」&「関わり甲斐」のある地域をつくろう

楽しいことは正しいこと！ 社会形成のキーワードは「共感」！



↑兵庫県美方郡香美町小代(おしろ)。地域住民の「かっこつけてないかっこよさ」が若者の移住を呼んでいる。